令和元年度（２０１９年度）産山学園便り

夢創造

令和元年９月９日（月）no.１５　文責：上田

阿蘇の雲海。降灰が続いていて農作物の被害も心配です。（帯状の噴煙）

９月１日『防災の日』　救給カレー？！

２日（月）の給食に“救給カレー”（レトルトの保存食）がでました。私は、３年前の熊本地震当時、前任校（町内の中学校に間借りしていた状況）で備蓄食として消防署に保存されていたレトルトの米飯を給食で食べたり、家の車庫でフレークを食べたりしていたことが思い出されました。前任校では、子どもたちの学習スペースの横に救援物資の水や段ボールベットなどが山積みされている状況だったことも思い起こされました。

今年も佐賀や長崎の九州北部で大雨の被害がありましたが、毎年のように自然災害で多くの尊い人の命が奪われたり、生活が一変したりという方々が多数おられます。災害に備えるためには、自分事として災害に向き合うための教育機会も必要だと思います。“救給カレー”もその機会と考えます。今日は「（九月九日）救急の日」です。ご家庭でも災害への備えについて考えてみてください。

「少年の主張」熊本県大会

昨日９月７日（土）、「少年の主張」熊本県大会が阿蘇市体育館で行われ、本校から阿蘇郡市代表として８年髙橋 響君が出場、奨励賞を受賞しました。今回の大会では県下２２５８人の応募があり、地域の誇りや家族、環境問題などについて中学生たちの意見が寄せられました。『世界を広げて』と題した髙橋君の発表は、読書のすばらしさを会場の皆さんに訴えるものでした。入賞おめでとう。

平和のバトン　６年修学旅行

先週９月５・６日（木・金）、６年生が長崎・佐賀への修学旅行に出かけました。１日目、長崎市内の平和公園や浦上天主堂、如己堂、山里小学校などを訪ねるフィールドワークでは、平和ガイドさんらに案内を受けながら、戦争の悲惨さや平和への願いを実感することができました。また、宿泊したホテルでの平和講話では、「平和とは、何でもない当たり前の平凡な暮らしの繰り返しである」「やさしさとは、人の痛みのわかること」と、話される田中安次郎さんの平和への強い思いに、子どもたちは『平和のバトン』を引き継ぐことを心に刻むことができました。

９年共通テスト　後期生期末テスト

先週３・４日（火・水）、９年生の共通テストが行われました。９年生にとっては高校受検資料ともなる大切なテストです。また、今週末の連休明けの１７日（火）からは後期生の期末テストも予定されています。多くの行事等もありますが、家庭学習にも計画的に取り組んでほしいと思います。